

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2020年8月9・16日



「財政危機」論は、福祉切り捨てへの布石か口実か 来春、敬老乗車証見直し、国保料・水道料金値上げ!?

|| 第一回京都市行財政審議会開かれる ||

7月2日、「京都市行財政審議会」第1回会合が開かれました。国保料・水道料金等の値上げや敬老乗車証の見直し、等々につきながら、出されませんでした。

審議会というのは、市長が、大学の先生や弁護士・会社役員などを指名し、市の行政・財政のあり方等について諮問（意見を聞く）する組織で、この審議会では8人です。経過について井上議



こくた衆院議員とともに国会・市会報告 (8月1日)



学習指導要領について学習会で勉強 (7/26)

員に聞きました。

―なぜ市が直接方針を出さないのですか。

●井上議員「実際は市長のやりたいことにお墨付きを得ようとするものだと思いますが、専門家の先生たちですから、公平な議論を期待したいと思えます。―今後の予定は?」

●7回程会合の後、来春、市の行財政のありかたについて、答申を発表の予定です。来年度予算にもその考え方を生かすとのこと。

―議論の予定は?」

●すでに1回目の会議から、敬老乗車証見直しや水道料金値上げ等を示唆するような意見が出されています。市も、市の財政は厳しい、収入は少ない、福祉など支出が増えていく、等の資料ばかり出し、議論をそういう方向へ誘導しています。

―審議会はイチジクの葉・隠れ蓑ですか。

●市長は自分の意向に沿って人選します。市長自身が言えば市民の反発を招くようなことも「先生たちのご意見」

なら「アオイのご紋」になる訳ですね。客観的公正公平な答申を望みますが、率直に言うて期待薄ですね。

―議会の関係は?」

●審議会は「専門家」の皆さんですが、住民の代表ではありません。一方、議会は住民の代表です。市は、審議会重視、議会軽視、というのが私の印象です。

―その印象の根拠は?」

●審議会では、先生たちのご意見をハイハイと聞いておられるのに、例えば議会で私が指摘した財源策は検討すらしていません(左)。

―なぜ検討しないのですか。

●勿論、議会は色々な意見がありますが、これは住民の代表だから

市長は「お金がない」と言いながら、井上議員提案の収入増対策を、検討すらしない

例1) 市民税の税率を以前のように戻し、高所得の人から応分の負担を。以前は所得に応じて3・8・10%、今はみんな一律8%。

例2) 「市税である法人市民税の一部を国の税金に振り替える」(会社が100円の市税を払っていたのに、そのうち例えば30円を国に払う税金に変更)という国の措置に言いなり。これを元に戻す。

例3) 市の法人税収の減少に連動している国の法人税減税の是正を。

こそです。私の提案も市民の声の反映です。結局、国言いなりの姿勢が骨の髄まで染みついていくからでしょう。今日の地方財政危機は、アベ内閣の税財政政策批判抜きに語ることはできません。審議会でも、そういう意見はほとんど出ませんでした。―市自身の財政では?」

●鴨東線整備や油小路通り地下トンネル計画などはムダづかいです。本質を避けた「財政危機」論は、結局、福祉切り捨てへの布石か口実かと思えるほどです。「危機」に名を借りて「敵は本能寺」ということでしょいか。引き続き報告します。



八条児童公園がきれいになりました (8/4)